

令和元年度 第3回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和元年6月11日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 401会議室

第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和元年6月11日（火） 午前9時30分～午前10時30分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 4階 401会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

西岡章寿	教育長	金本一二	委員
片山繁樹	委員	中山由香里	委員
前田純恵	委員		

事務局

前田正人	教育部長	山本信介	教育部次長
田路正幸	教育部次長	中尾善弘	次長兼こども未来課長
西林文隆	次長兼施設整備課長	進藤美穂	教育総務課長
世良繁信	学校教育課長	柴原宏二	社会教育文化財課長
池本雅彦	学校給食センター所長	小河秀義	市民協働課長
西田征博	人権推進課長	太田雅章	教育総務課副課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

前田委員

6 前回会議録の承認

令和元年度第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

(1) 幼保一元化推進状況について

一宮南地区幼保一元化協議会について、第3回協議会を6月14日（金）19:00からセンターいちのみやで開催する予定となっています。

また、（仮称）一宮南認定こども園建設事業について、昨日6月10日に入札を行い、請負業者は（株）松本工務店に決定しました。請負金額は4億480万円、令和2年4月の開園をめざします。

(2) 教育環境整備について

校務用パソコンの購入につきまして、市内7中学校及び教育委員会事務局にパソコン本体、ソフトウェアを導入するため、5月21日に入札を行った結果、1,593万円でイトーオフィスサービス（株）が落札され、5月31日開催の議会で議決されました。9月30日までに納入される予定となっております。詳細につきましては、後ほど担当課より説明いたします。

(3) 兵庫県教育委員会 移動教育委員会について

7月4日（木）に、兵庫県教育委員会の移動教育委員会が宍粟市で開催されます。西上教育長をはじめ6名の委員が来訪され、連携型中高一貫教育の取組みについて千種高校の校長先生から説明を受けるとともに、千種中学校でのたたら製鉄体験授業を視察され、学校給食の試食、その後、宍粟防災センターで教育委員会が開催されます。これにつきましても、後ほど担当課より詳細を説明いたします。

8 協議報告事項

(1) 宍粟市小中一貫教育の推進及び整備方針について

資料1「宍粟市小中一貫教育の推進及び整備方針（案）」により、世良学校教育課長が報告した。

(2) 令和元年度兵庫県教育委員会・宍粟市教育委員会学校訪問について

資料2「令和元年度兵庫県教育委員会・宍粟市教育委員会学校訪問日程表について（予定）」により、世良学校教育課長が報告した。

(3) 幼保一元化推進状況について

資料3「幼保一元化の推進状況について」により、（仮称）一宮南認定こども園の建築工事スケジュール及び山崎地区幼保一元化の今後の進め方について、園区を外していく方向性である旨、中尾次長兼こども未来課長が報告した。

(4) 校務用パソコンの購入について

資料4「校務用パソコン購入概要」により、西林次長兼施設整備課長が報告した。

(5) 令和元年度宍粟市民大学予定講座について

資料5「令和元年度（前期）宍粟市民大学予定講座」により、柴原社会教育文化財課長

が報告した。

(6) 学校給食における異物混入対応について

資料6「令和元年度学校給食センター異物混入状況及び対策」により、池本学校給食センター所長が報告した。

(7) 令和元年度宍粟市スポーツ推進委員について

資料7「令和元年度宍粟市スポーツ推進委員名簿」により、小河市民協働課長が報告した。

(8) 東京2020オリンピック聖火リレー（概要）について

資料8「東京2020オリンピック聖火リレー（概要）について」により、小河市民協働課長が報告した。

(9) 令和元年度主な人権啓発事業と人権学習事業について

資料9「令和元年度主な人権啓発事業と人権学習事業」により、西田人権推進課長が報告した。

(10) その他

別紙「移動教育委員会日程（西播磨地区）」により、世良学校教育課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

小中一貫教育について、資料1 P17「地域との協働」について、前回資料の「地域による支援」から変更になったことについては、的を射ており大変良かったと感じている。保護者や地域住民とビジョンを共有しつつ丁寧に進めることについては、地域とともにある学校づくりという観点には欠かせないことだと思っている。そのためにも、今後の予定にもあるように事前に理解を深める場が必要であるが、保護者には7月の一宮北小中学校における説明、その後、令和2年以降には段階的にその他の学校への説明を実施していくという計画がされており良く理解できるが、一方で地域住民に対しての今後の予定について明記されていない。こういったビジョンで共有していこうと考えられているのか。具体的には学校運営協議会の設置についてスケジュールはどうなるのか。各学校が進めるのか、あるいは教育委員会が働きかけを行うのか。具体的なスケジュールについて説明願いたい。

(世良学校教育課長)

4月の教育委員会において、委員より市連合自治会での説明についてご提案いただいたが、本推進計画は10年間ということもあり、市連合自治会という場での説明は難しいと考えており現段階では地域との協働に向けてのタイムスケジュールはない状況である。一方、学校運営協議会については、平成31年4月1日より、一宮北小学校及び中学校でひとつの運営協議会を設置している。小中学校でひとつの運営協議会の設置については、県下では2例目である。その

他の学校についても、何校か運営協議会を設置したい旨学校長より申し出をいただいております、教育委員会としても積極的に推進していきたいと考えています。

(片山委員)

一宮北小中学校、また波賀、千種の学校では運営協議会が設置され、今後の事業推進がスムーズにいくのではと考えているが、これまで運営協議会を設置されていない南部の学校については、地域や保護者への支援を行うことで設置がスムーズにいくのではないかと考える。それぞれの学校だけで考えてもらうのは難しい。教育委員会がアドバイスして支援していく必要があるのではと考える。

(世良学校教育課長)

ご意見の内容に沿った仕組みについては検討していきたいと考える。なお、山崎西中学校においては、令和2年度より運営協議会を立ち上げたい旨、校長より聞いている。

(前田委員)

一宮北小中学校における一貫教育の具体的な例を教えてください。

(世良学校教育課長)

具来的な例でいうと、資料1P13、特別活動の総合的な学習を、小学1年生から中学3年生まで9年間を見通したカリキュラムにより指導して、いわゆる「ふるさと学習」として系統的に9年間継続して実施するという点について、実際にカリキュラムの案についても作成し、今後調整を行う中で、令和3年には実施したいということを経理からも聞いていただいている。体験学習や地域学習を9年間、保護者や地域の助けを得ながら取り組んでいくということがひとつの柱である。ふたつめの柱は外国語活動である。宍粟市では小学3年生から外国語活動、英語学習に取り組んでいるところであるが、これについても小学1年生から9年間を見通したカリキュラムを構築するといったイメージである。具体的にいうと、中学校の英語教員やALTが小学校に出向いて、小学1年生からゲームや歌などで英語に慣れ親しむことから始め、中学3年生では高等学校や社会へ出ていくための英語を身につけるようなカリキュラムを系統的に構築していく。これについては、それぞれの小中学校が交流しながら取り組みを進めていくというイメージである。みつめめの柱として、人権教育についても、現在は小学校、中学校がそれぞれのカリキュラムをつくっているが、これについてもそれぞれの地域性を生かしたテーマを設定して9年間を見通したカリキュラムを構築していきたいと考えている。最後の柱として、各教科等において、小学校の教員が中学校へ、あるいは中学校の教員が小学校に出向いて授業を行う中で、いわゆる中1ギャップを解消しながら、より分かりやすい授業を構築していくというイメージにより進めていく。以上の柱により一宮北小中学校の一貫教育を進めていくということで準備に入っている。現在、一宮北小中学校では、小学校の教員が中学1年生の数学を教えており、小学6年生を知っている教員が引き続き中学校で教えることにより、子どもの個性や特性を理解する中で中学校でのつまづきを解消している。また、中学校からは音楽の教員が小学校の音楽を指導するなど交流を進めている状況である。

(前田委員)

そういった取り組みの中で、子どもや保護者の反応について教えてください。

(世良学校教育課長)

数学については、先ほど説明した取り組みにより、知っている先生が教えてくれることで安心

して授業を受けることができるとともに分かりやすいという話を聞いている。音楽についても、専門的な話が聞けて楽しいといった話を聞いている。保護者の反応としては、肯定的な意見は聞いているが、困るとか問題があるといったような意見は現段階では聞いている。

(金本委員)

資料1 P22「今後の予定」について、鳥取県若桜学園小中学校を訪問予定となっているが、具体的にどのような取組みをされている学校なのか。

(世良学校教育課長)

鳥取県若桜学園小中学校は併設型小中一貫校であるが、いわゆる校長が1名の学校である。これまでも2度視察をさせていただいており、今回学びたいと考えているのは、中学校への区切りとして小学6年生にあたる子どもたちのリーダーシップを育てるための取組みを具体的に視察したいと考えている。若桜学園においては、制度的には4・3・2の区切りで小中一貫教育に取り組みられておられる。設備的にも一体化したところであり、宍粟市にどこまで反映できるかわからないが、小中一貫教育としてかなり進んでいる学校であることから、教育委員のみなさまもぜひとも事務局と一緒に視察に同行していただければと考える。

(金本委員)

その他の「移動教育委員会」について、われわれ委員が傍聴する場合の時間について伺いたい。

(世良学校教育課長)

具体的な時間としては、14時15分から宍粟防災センターで県教育委員会が行われることとなっているので、14時には来場していただいたらと考える。

9 次回会議の招集について

令和元年7月16日(火)午前9時30分から、令和元年度第4回宍粟市教育委員会を開催するとした。

※当日は、教育委員会終了後、宍粟市総合教育会議を開催予定

10 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前10時30分終了